

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
 【発行日】平成27年11月12日 (2015.11.12)

【公開番号】特開2014-163128(P2014-163128A)  
 【公開日】平成26年9月8日 (2014.9.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-048  
 【出願番号】特願2013-35475(P2013-35475)  
 【国際特許分類】

E 0 1 C 19/34 (2006.01)

【 F I 】

E 0 1 C 19/34 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月23日 (2015.9.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

この実施の形態の転圧板 1 0 は、合板 1 3 とその裏面に設けた鉄板 1 4 と、表面に設けたサポート鉄板 1 5 とを、ボルト 1 6 およびナット 1 7 からなる固定具により一体に結合して構成したものである。この転圧板 1 0 は、転圧作業における円滑な前進が可能となるように、前端部が上方に向けて傾斜した構造を有し、この実施の形態においては、この傾斜した前端部 1 0 a に設けたボルト 1 6、ナット 1 7 の頂部は、前端部 1 0 a の頂部より高い位置にある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

図 5 はこの搬送装置 2 を転圧板 1 0 の前部に取付ける工程を示す図である。この搬送装置 2 を転圧板 1 0 に取付ける際には、ハンドル 5 の前端部 5 b を作業者が片方の手で持って持ち上げることにより、図 5 ( A ) に示すように、転圧板 1 0 の前部を持ち上げる。そして、搬送装置 2 の取手 2 5 を他方の手で持って下ろすことにより、連結部材 2 1 と第 1 の受板部 2 3 との間に転圧板 1 0 の前端部 1 0 a を通し、( B ) ~ ( D ) に示すように、搬送装置 2 をさらに下ろすことにより、ボルト 1 6 が連結部材 2 1 を超えて連結部材 2 1 より前方に位置するように搬送装置 2 を移動させることができる。